

平成30年12月3日から18日までを会期として第4回定例会が開催されました。

本定例会では、平成30年6月22日に設置された下関市議会業務継続計画(BCP)調査特別委員会の調査結果報告が行われ、その調査結果に基づき下関市議会業務継続計画(BCP)が策定されました。

今回は、その報告内容と策定された計画の概要について紹介します。



議会だより

第4回定例会

議会の情報は下関市のホームページから

<http://www.city.shimonoseki.lg.jp>

議会BCPの策定経緯

本特別委員会は、さまざまな調査・研究を進める中、まず先進事例を学ぶために、既に議会BCPを策定している7自治体の計画を研究し、うち2自治体に視察を行い、学んだ内容を計画の素案の中に盛り込みました。

また、7月26日に開催された議員研修会で、鍵屋一氏(跡見学園女子大学教授)による「自治体の防災対策と災害時における議会、議員の役割について講演をいただいたことも、計画策定に大いに役立てることができました。



議会BCPの概要

議会BCPは、目的、BCP発動要件、議会・議員の役割、災害発生時からの経過時間ごとにおける議会・議員の行動、BCPの見直しなど、8項目で構成しています。

目的は、「下関市内で大規模災害が発生した場合に、下関市災害対策本部と連携することにより、市民の安全安心を確保し、議会機能の早期回復を図ることを目的として、二元代表制の一翼を担う議会および議員の対応について必要な事項を定めること」としました。

また、議会・議員の役割については、市災害対策本部が迅速かつ適切な災害対応に専念できるように必要な協力・支援を行うこととしました。そのためには、地域の被災状況等の情報を整理し、市災害対策本部へ提供することが重要であり、情報整理には、1カ所に情報を集約する必要があることから、「下関市議会災害対策会議」を設置し、収集・整理した情報を市災害対策本部へ提供、市災害対策本部から得た情報を、議員を通じて市民へ提供するとしています。さらに本計画をより実効性のあるものとしていくため、参集訓練・通信訓練などの検証・点検を行い、必要に応じて見直しを図ること

業務継続計画(BCP)とは

災害時には、行政自らも被災することになります。人、物、情報などが平常時と異なり、利用できる資源に制約が生じた状況下で、優先的に実施すべき業務を特定し、業務の執行体制や対応手順、業務継続に必要な資源の調達方法などをあらかじめ定めておくことによって、大規模災害などの緊急事態に遭遇した場合においても、適切な業務執行をすることを目的とした計画のことです。

しています。
今後、万が一、大規模な災害が発生した場合は、本BCPに基づき、市議会として取るべき行動を的確に判断し、市と連携して早期復旧・復興を目指していきます。

◎今後の予定

例年3月に第1回定例会が開催されますが、2月3日に市議会議員一般選挙が行われるため、議会日程につきましては、決まり次第、市議会ホームページでお知らせいたします。



下関市選挙管理委員会 からのお知らせ

新しい時代へ。さあ！私たちも。

下関市議会議員一般選挙

投票日 平成31年 **2月3日** 日



時代を変える
未来を変える
あなたの一票

仕事、学業等により当日投票に行けない方は、期日前投票等により投票することができます。詳しくは、下関市選挙管理委員会事務局(083-231-2415)にお問い合わせください。

下関市選挙管理委員会
下関市明るい選挙推進協議会

☎ 231-4121(直通)
☎ 234-5171
✉ gkgijika@city.shimonoseki.jp
yamaguchi.jp